



平成 29 年 7 月 24 日

各 位

会 社 名 日本アジア投資株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 下村 哲朗
(コード番号 8518 東証一部)
問 い 合 せ 先 執行役員 岸本 謙司
T E L 03 (3259) 8518

特別利益計上に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期第1四半期連結決算において、下記のとおり補助金収入217百万円を特別利益に計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。なお、従来連結基準による財務諸表では、適用される会計基準が異なるため、当該補助金収入は他の費用等が控除されたのち、組合持分利益等として営業収益に計上される見込みです。また、本件に伴う平成29年5月15日に開示した「従来連結基準（注）による見込値」の修正はありません。

記

1. 特別利益の内容

この度、当社が匿名組合出資する特別目的会社が北海道帯広市で建設中のメガソーラー発電所において、「経済産業省からの再生可能エネルギー接続保留緊急対応補助金（再生可能エネルギー発電事業者のための蓄電システム導入支援事業）交付要綱第2条」に基づき受領した補助金が、当社の平成30年3月期第1四半期連結決算において補助金収入217百万円として特別利益に計上される見込みとなりました。

2. 今後の見通し

今般の補助金の受領は、平成29年5月15日に開示した「従来連結基準（注）による見込値」において前提条件としていた取引であり、これに伴う当該見込値の修正はありません。

なお、従来連結基準による財務諸表では、適用される会計基準が異なるため、当該補助金収入は他の費用等が控除されたのち、組合持分利益等として営業収益に計上される見込みです。

(参考情報) 従来連結基準（注）による見込値

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)
当期 従来連結基準（注）による見込値 (平成30年3月期)	4,700	750	550	470
前期 従来連結基準（注）による実績 (平成29年3月期)	3,926	836	726	553

業績予想につきましては、当社グループが展開する投資事業全般はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて「従来連結基準（注）による見込値」を参考情報として開示しております。

なお、「従来連結基準（注）による見込値」をはじめ本資料に掲載されている将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。よって、実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

（注）従来連結基準

当社グループでは、平成 19 年 3 月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会 平成 18 年 9 月 8 日 実務対応報告第 20 号）を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまに、当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識頂くためには、従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えており、参考情報として、従来からの会計基準に従って、投資事業組合については、資産、負債及び収益、費用を外部出資者の持分を含まない当社及び関係会社の出資持分に応じて計上し、また、会社型ファンドについては連結の範囲から除いた連結財務諸表等を「従来連結基準」として継続的に開示しております。

以 上